

青少年海外研修事業

白糠町では平成9年より「ふるさと教育」に取り組み町の歴史や産業、アイヌ文化などを学習しています。これまでの学習を生かし、未来の地域リーダーとなれる人材を育てます。



マオリ族との交流 異文化理解を深める。

研修事業に参加の中高生は、3回の事前研修を実施。1回目の研修は昨年12月27日に「ウレシパチセ」で行われ、白糠アイヌ文化協会の方々による指導で、アイヌ民族伝統舞踊や歌を習ったほか、伝統的な儀式に込められた思いなどを聞きました。習ったアイヌ民族の伝統舞踊と歌は、ニュージーランドの学校や「マオリ族」との文化交流で披露しました。

未来の地域リーダーを育成 令和5年度 青少年海外研修

白糠町では、次代を担う町内の中高生に国外の歴史や文化、生活習慣、環境などを肌で感じてもらう、国際的な規模で活動できる広い視野と、自らの可能性に対して挑戦する意欲を育てることを目的に「青少年海外研修事業」を実施しています。

当初は5年前の2019年に事業を実施する予定でしたが、コロナ禍のため中止となっていました。本事業は2月11日〜17日の日程で、茶路中学校の2年生1人、白糠学園と庶路学園の義務教育学校8年生が5人、白糠高校1年生の2人の計8人が、研修先のニュージーランドを訪れました。

※学年は令和5年度です
今月号では、3月14日に役場で行われた事後研修において、参加した中高生が報告した内容の一部をお知らせします。
また、5月19日(日)に開催する「白糠町少年の主張」で、参加生徒を代表して2人の生徒が発表を予定しています。ぜひ、会場で生徒たちの声をお聞きください。

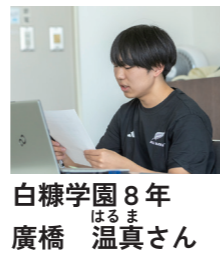


1日目、ニュージーランドへ出発。約10時間30分の長い飛行機の旅。2日目は市内を一望できるスカイタワー、マイケルジョセフサベージメモリアルパークを視察。3日目はテランギハカ(現地学校)での交流のほか、ロトルア湖やオケレフォール(滝)を視察。4日目はポフツ間欠泉やマオリ美術工芸学校、レッドウッズ・ツリーウオークを視察。マオリ村ではマオリ族と交流(右写真)。5日目はアグロドームで羊のファームショーを見学。ロトルアから国際空港があるオークランドへ移動、途中で土ボタルを鑑賞。6日目は成田空港へ出発。7日目は羽田空港から釧路空港へ。その後、白糠町へ無事帰町しました。



白糠高等学校 1年
羽賀 絢花さん

ニュージーランドは暑くて環境が悪いところだと思っていましたが、実際は自然が多くて、過ごしやすかったです。英語がわからなくても交流を深めていくうちに、どうすれば会話できるのか、相手に伝わるのかを考えて行動するようになりました。



白糠学園 8年
廣橋 温真さん

テランギハカハカ(現地学校)を訪問しました。この学校では給食で嫌いなものは捨ててもよく、実際に残して捨てているのを見ました。すぐもったいないと思いましたが、私たちも苦手なものは残していることに気がつきました。環境のためにも食品ロスを減らすことが大切だと思いました。



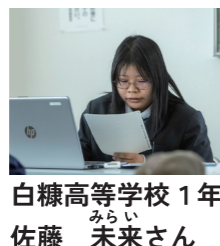
庶路学園 8年
高橋 心愛さん

ニュージーランドには「マオリ族」という先住民がいます。マオリ族は言葉や文化を残すために、テクノロジーを取り入れたり、文化を観光にしたりといった取り組みをしていました。私たちがアイヌ文化を残すためには、学校や地域などでアイヌ文化の情報を発信していくことが必要だと思いました。



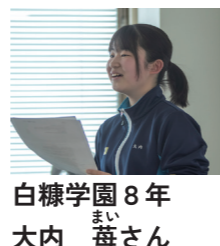
茶路中学校 2年
工藤 光稀さん

今回の交流で、将来、自分の考えや思いを海外でも共有できるよう、英語を覚えたいと強く思いました。文化や言葉が違って、相手を尊重して知ろうとすることが何よりも大切で、心は通じ合えるということをも身をもって知ることができました。



白糠高等学校 1年
佐藤 未来さん

羊や牛などの農場「アグロドーム」では、羊に直接触れたり、毛刈りショーを見ることができました。今回の研修では、ニュージーランドでは食器を持って食べないなど日本との食文化の違いや、比較的に日本よりも物価が高いことなどを知ることができました。今回学んだことを、今後に活かしていきたいです。



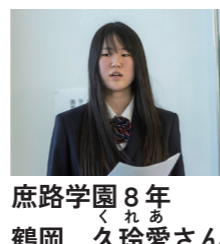
白糠学園 8年
大内 母さん

「レッドウッズ・ツリーウオーク」という施設は、吊り橋を渡って大自然を感じることができます。ここでは多くの森林が二酸化炭素を吸収するので、観光と地球温暖化対策の両立ができることに興味を持ちました。白糠の木材を使って、二酸化炭素の排出を減らす取り組みができるか考えるようになりました。



白糠学園 8年
渡邊 心暖さん

ニュージーランドはさまざまな人種が暮らし、それぞれの文化をもつ多民族国家ですが、争いがなく人柄や治安がいいと言われています。今回の研修を通して、多民族国家でも文化交流をしたり、互いを尊重している、そしてとても親切な人が多いことから、争いが少ないのだと思いました。



庶路学園 8年
鶴岡 久玲愛さん

観光地となっている「オケレフォール(滝)」や1日に約15~20回噴き出す「ポフツ間欠泉」など、自然を大切にしながら、きちんと管理されているところがすてきだなと思いました。自然をうまく有効活用しているので、白糠でも自然を使った遊具などを造ってはどうかなと思いました。